

授業科目	法学				実務家教員担当科目	-	
単位	2.	履修	選択	開講年次	1	開講時期	前期
担当教員	木村 茂喜						
授業概要	<p>本講では、現代の社会生活上において発生しているさまざまな事象・問題について、法がどのような役割を担い、またいかに作用しているのかを学習する。また本講では、基本法規である民法を中心に取扱うが、具体的問題は民法に限らず、憲法、行政法、刑法、労働法、社会保障法等のさまざまな法領域にもまたがるので、これらの関連法領域について、さらには各法領域の相互関係についても学習する。</p> <p>※福祉学科の学生に対して</p> <p>本講で取り上げる内容は、「権利擁護を支える法制度」（3年後期）、「刑事司法と福祉」（4年前期）をはじめとする、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験指定科目の内容を理解するための基礎的な知識として必要であることから、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験の受験を検討している学生の履修を強く勧める。</p>						
授業形態	講義	授業方法	学生の講義内容の理解度を確認するため、講義中および講義終了時に Google Form を使った確認テストを実施する。				
学生が達成すべき行動目標							
標準的レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・社会における法の役割をある程度理解し、説明できる。(DP1-1) ・日常生活で用いられるさまざまな法をある程度理解し、その内容について説明できる。(DP1-1) ・法的なものの考え方を日常生活や対人援助にある程度活用することができる。(DP1-1) ・(福祉学科のみ) 社会福祉士・精神保健福祉士指定科目の内容を理解するために必要な基礎的な知識をある程度身につけている。(DP1-1) 						
理想的レベル	<ul style="list-style-type: none"> ・社会における法の役割を適切に理解し、正確に説明できる。(DP1-1) ・日常生活で用いられるさまざまな法を正確に理解し、その内容について正確に説明できる。(DP1-1) ・法的なものの考え方を適切に身につけて、その考え方を日常生活や対人援助に活用することができる。(DP1-1) ・(福祉学科のみ) 社会福祉士・精神保健福祉士指定科目の内容を理解するために必要な基礎的な知識を正確に身につけている。(DP1-1) 						
評価方法・評価割合							
評価方法	評価割合 (数値)			備考			
試験							
小テスト	30%						
レポート	50%						
発表 (口頭、プレゼンテーション)							
レポート外の提出物							
その他	20%			各講義終了後、学生より提出されたコメントの記述内容に基づき評価する。			
カリキュラムマップ (該当 DP) ・ナンバリング							

DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	NU10411J WE10411J NT10411J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安 （時間）	
予習：テキスト該当部分に目を通す 復習：テキスト該当部分・レジユメの見直し										4	
授業計画											
第1回	テーマ：イントロダクション 講義の進め方、法学を学ぶ意義について説明する。										
第2回	テーマ：私たちと法とのかかわり 社会の中の法の役割、法体系と分類、人の一生と法とのかかわりについて解説する。										
第3回	テーマ：裁判と法 裁判の役割、裁判の種類、法曹と裁判員制度について解説する。										
第4回	テーマ：犯罪と刑罰 刑事手続、少年非行と少年法、犯罪被害者への支援について解説する。										
第5回	テーマ：家庭生活と法（1）婚姻・離婚 家族の定義、婚姻、離婚について解説する。										
第6回	テーマ：家庭生活と法（2）親子・扶養、相続 親子関係、扶養、成年後見制度、相続について解説する。										
第7回	テーマ：消費者と法 契約の成立要件、契約の有効要件、消費者保護法制について解説する。										
第8回	テーマ：被害の救済と法 発生した損害に対する責任追及の方法、損害賠償請求権の発生要件について解説する。										
第9回	テーマ：労働と法（1）労働契約、労働条件 労働契約と就業規則、正社員と非正規労働者、雇用機会均等、賃金、労働時間について解説する。										
第10回	テーマ：労働と法（2）ワークライフバランス、労働契約の終了、労働組合 ワークライフバランス、労働契約の終了、労働組合について解説する。										
第11回	テーマ：社会保障と法 社会保障の意義、社会保障制度の概要について解説する。										
第12回	テーマ：教育と法（オンデマンド） 教育を受ける権利、教育に関する法制、学問の自由について解説する。										
第13回	テーマ：環境と法 情報と法 環境権、環境に関する法制、報道の自由とプライバシー、情報公開と個人情報の保護について解説する。										
第14回	テーマ：医療と法 医療過誤、臓器移植、安楽死と尊厳死、患者の権利について解説する。										
第15回	テーマ：人権の保障と政治制度										

	基本的人権、国民の政治参加、地方自治について解説する。
テキスト	平野武・平野鷹子・平野潤『私たちと法（4訂版）』（法律文化社） そのほか、毎回の講義開始前に、レジユメを配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	適宜、講義を理解する上で参考となる諸文献を挙げる。
課題に対するフィードバックの方法	小テストは提出後すぐに解答と解説が返却される。 コメントカードに書かれた質問、意見については、次回の講義の冒頭で回答や補足説明を行う。
学生へのメッセージ・コメント	講義終了時に次回の講義で扱う教科書の範囲を示すので、次回の講義までに各自目を通しておくことが望ましい。また、講義後には各自でその日の講義内容について復習をしておくこと。さらに、新聞・テレビ等で取り上げられる、本講のテーマに関する諸情報を入手しておくことが望ましい。